板橋区立中央図書館基本計画

板橋区教育委員会

はじめに

板橋区立中央図書館は、区立図書館の中央館として、地域図書館10館をリードし、区民の方々の情報拠点として、生涯を通じた学びを支援する中心的な役割を担っています。

また、情報化、グローバル化、少子・高齢化など、急速な社会状況の変化のなかで、図書館は、区民の多様なニーズに応えた図書資料の充実やICT化への対応など、未来を展望した新たなサービスを提供することが求められています。さらに、図書館は、未来を担う子どもたちの読む力、話す力、書く力などを向上させ、豊かな感性や情緒を育むために、家庭、学校、地域と連携して、子どもの頃から親子で本に親しみ、読書を楽しむ環境を整備する取組を進めていくことが重要です。

そこで、板橋区教育委員会では、エレベーターが設置されていないなど、ユニバーサルデザインに課題があり、老朽化が進んだ板橋区立中央図書館を新たに整備することとし、平成25年度から検討を進め、平成27年度には、「板橋区立中央図書館基本構想」を策定いたしました。

中央図書館基本構想では、新たな中央図書館の基本理念を「未来をはぐくみ、こころの豊かさと新しい価値を創造し、“緑と文化”を象徴する図書館」とし、これを実現するための重点テーマを定め、板橋区平和公園内に移転し、建設することといたしました。また、ボローニャ国際児童図書展に出展された海外の貴重な絵本を収蔵し公開している「いたばしボローニャこども絵本館」を併設し、世界の絵本の魅力を身近に見て触れて感じて比べる場を提供し、「絵本のまち板橋」を発信することといたしました。

このたび、中央図書館基本構想を踏まえ、重点テーマに沿った具体的な図書館事業・サービスを示し、それらを実施するために最適な施設の概要をまとめる「板橋区立中央図書館基本計画」を策定いたしました。この中央図書館基本計画では、基本理念を実現する目指すべき中央図書館の姿を明確化するため、「新しい中央図書館像」を次のように定めました。

・板橋区立図書館の中央館として、区内10館の地域図書館の核となり、区民の求める適切な情報を提供する図書館
・ボローニャ子ども絵本館を併設し、“絵本のまち板橋”として、世界の絵本の魅力を発信する図書館
・子ども向け図書、サービスを充実させ、親子で本に親しむ場を提供する図書館
・あらゆる世代の区民が集い、学び合い、交流、活動する場となる図書館
・公園内の緑に囲まれた環境の中で、豊かに快適に過ごすことができる図書館

また、図書館と公園双方の魅力を高める平和公園内の建設場所を示すとともに、図書館内のエリアのつながりや基本要件を明らかにし、基本設計に反映することといたしました。

中央図書館基本計画の検討にあたっては、区民の皆様のニーズを的確に反映し、地域の活性化に寄与する図書館とするために、区民説明会や出張意見交換会を実施し、図書館の利用者及び団体、地域のグループ、中学生など多くの皆様と新たな中央図書館について意見交換を重ねてまいりました。

今後、この中央図書館基本計画に基づき、新たな中央図書館を建設するため設計作業、図書の収集計画、図書館事業・サービスの準備を進め、区民の皆様の期待に応えられる魅力ある新たな中央図書館を整備してまいります。

新たな中央図書館の整備、運営に、引き続き、ご理解、ご協力賜わりますようお願いいたします。

平成29年3月

板橋区教育委員会
教育長　　中 川　修 一